

市民のためのまちの情報発信誌

はんなら



- P2~P3 第50回 飯能まつり
- P4~P5 山を嗜む
- P6 お蚕夏休み自由研究
- P7 飲食店探訪
- P8 JCページ



第183号

柳原

飯能まつり 写真提供: 細田 智之



公益社団法人 飯能青年会議所

第50回 飯能まつり



例年約16万人もの人が訪れる、地域の象徴でもある「飯能まつり」その歴史をご紹介します。

江戸時代より、飯能村には鎮守の飯能諏訪八幡神社があり、一丁目・二丁目・三丁目・河原町・宮本町の5町内でお祭りをし、八幡神社では原町がお祭りをしていました。

明治15年の原町を皮切りに河原町・三丁目・一丁目・二丁目・宮本町が大正末までに、前田・柳原が戦後すぐに山車と屋台を手に入れ曳き出すようになります。

その後、昭和40年代に入ると観光協会や商工会議所、商店街、自治会が中心となって飯能まつり協賛会が組織され、昭和46年に第1回「飯能まつり」が市をあげて開催されました。

市街地の山車・屋台曳行はもちろんだが、郊外地区の獅子連による居囃子、さらに各神社に伝わる獅子舞や鷹組合による梯子乗り、民踊流しパレード、小学児童による鼓笛隊、催事等々盛りだくさんの内容となりました。回を重ねるごとに参加団体も増え、山車・屋台参加町内も中山・双柳・本郷が加わり、現在は11町内が曳き廻しを行っています。



二丁目の「魅せる」お囃子

二丁目と言えば常に何か新しい事にチャレンジしていてみんなが楽しそうな姿が印象的です。その姿勢はどのような事から始まったのですか？

小槻

元々は内輪で楽しむためにやってきました。技術革新があった時期に思い

切って衣装やお面など良いものを揃えたり、他の町へ見に行つて勉強したりしてうちに、元ネタがあるような演目を山車の上で再現したいと思いはじめました。

飯能のオールドソックスな型は他の10カ町さんにお任せして、うちの町内はお囃子がわからない人でも楽しめるような物を目指して、例えば扇子を振る女の子が山車側ではなく、お客さん側を向いていたり、山車の上でお客さんを楽しませるネタ（七福神、もどきづくし）など常にお客さんに向けて面白い事を発信しています。



山車に乗る人達、全員が「もどき」と言うお面をつけて演奏する「もどきづくし」

令和4年度「飯能まつり」

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながらですが、先日正式に、開催の発表が飯能まつり協賛会よりありました。

3年ぶりの開催となる「飯能まつり」当番町の二丁目親和会会長の小槻立三にお話を聞いてきました。



コロナ禍での活動

コロナ禍で様々な制限があった中、どのような活動をされてきたのでしょうか？

小槻

二丁目に関しては、緊急事態宣言が出ている時以外は、月一回有志で練習会は途切れないように続けていきました。お祭りが2年続けて中止となり発表の場がなくなってしまったため、モチベーションは下がってしまう感じはしました。

伝統芸能が故に、正直最初は反発やクレームなどゼロではなかったと思います。ただありがたいことにうちが小さい町内なので意外と周りからは「変なことやってら」で済みました。

11カ町あるので色々な町内がいて良いと思います。昔ながらの「これが飯能まつり」って町内ももちろんいて欲しいですし、うちみたいに亜流だけど面白いことや町内があつても良いでしょう。人によって「私はあの町内が好き」みたいにファンが増えることよりお祭りが楽しくなると思います。

第50回目の飯能まつり

今年50回目の節目を迎えるわけですが、意識する事や意気込みなどを教えてください。

小槻

例年のお祭りと違い制約が多い中、今年に関してはまず開催することが最大の目標です。この状況下でもみんな考え協力し合えばお祭りは開催できるという実績を作らないといけないと思います。今年実績を挙げられれば、今後このような状況が続いても開催で

また子供はその間に小学生から中学生になったりと環境が変わるサイクルが大人より早いので、お囃子を離れてしまふのではないかと危惧はしています。これは二丁目独自の取り組みですが、お囃子メンバー内の中高生でチームを作って5月から半年間、お囃子のプロにみっちり教わるとどれくらい上手くなるかチャレンジをしています。これもコロナで下がった子供たちのモチベーションを上げるための話題作りの一環です。



きる流れが作れると思いますし、そのためにも一回、お祭りが出来るという事実を証明しなければならぬ、まずそこが第一だと思えます。

その上で各町内がどう盛り上げるのかはまだこれから考えると思いますが、例えばうちなら年に一回最後の引き合わせでやっていった大きなネタを全ての引き合わせで出すとか。毎回が見せ場になるような演出ができればいいなと考えてます。

飯能まつりの未来

今回、飯能まつりの歴史を調べたり、二丁目親和会会長のお話を聞かせていただく中で、飯能まつりの価値を見直し、もっと広い視点でお祭り文化を考えるきっかけとなりました。

埼玉西部地域には川越、秩父と大きなお祭りがあります。飯能まつりもそれらに肩を並べるようなお祭りになるポテンシャルがあると思います。

ちょうど飯能も川越も秩父も西武鉄道の終点駅なので、10月の川越、11月の飯能、12月の秩父と西武沿線3大まつりとしてアピールできたら、埼玉西部地域全体が益々盛り上がりつつあるのではないのでしょうか。

新文化
文化新聞
株式会社ブラウズ

地域の交通安全教育センター
飯能自動車学校

technasia
株式会社 テクネシア
http://technasia.net

住まいの総合パートナー
有カトウ企画
土地・建物 売買
アパートマンション 賃貸
東飯能駅 徒歩1分
TEL 042-971-9711

創る楽しさをすべての人に
物づくりの真心をお客様の喜びへ
武蔵工業株式会社
飯能市稲荷町20-18
☎97317731(代)



監査・税務・会計指導
吉島会計事務所
 飯能市南町二・二
 九七四・四一六六

清河園
 会席割烹 名栗河畔
 和膳 とんぼ
 〒357-0037 埼玉県飯能市稲荷町23-23
 TEL (042)973-2311(代)
 ホームページ
<http://www.seikaen-tonbotei.jp/>

不用品回収、ハウスクリーニング
有限会社 飯能清掃センター
 飯能市南町13-1
 ☎973-3738

手をつなごう
Welpen
 ヲェルペン

私達は、人を育てることで
 明るい未来を創造します。
赤門塾株式会社
 学習塾 赤門
 パソコン教室
 飯能市東町19-9
 042(972)5058
www.akaimon.jp

山を嗜む

たしな



風呂の湯を沸かすために薪を割る

初対面の子どもたちが古民家に

最終回 若者の新たな仕事を生み出せ！ 上名栗での挑戦

毎年3回発行している『はんなーら』。早いもので今年が本年度最終号です。ここでは名栗や東吾野地域における山林の保全や活用・文化の継承といった活動を行なっている団体をご紹介してきました。最終回となる今回は、これまで無償ボランティアが主流であった里山の環境文化の保全活動において有償事業であることにこだわりを持ち、10-20代の若者とともに活動をしている市内でもユニークな団体を紹介し、里山の未来について考えてみようと思います。

名栗の古民家を拠点にする『里山こらぼ』

飯能市街地から車で50分。周辺集落と比べて標高が高く、猛暑の続く夏でもよい風が吹く上名栗湯ノ沢地区に、一般社団法人里山こらぼ(以下、里山こらぼ)の活動拠点があります。里山こらぼは、2014年に駿河台大学が受託した埼玉県の中山間受託事業「ふるさと支援隊」での「古民家再生プロジェクト」が前身で、その後2017年に「飯能地域の自然や人の営みを守ることを目的とする一般社団法人を設立し、事業を引き継ぎました。そのため、活動当初から現在に至るまで大学生が常に活動に参画しています。里山こらぼは日々、名栗地域の放課後児童クラブを運営し、自然の中で子どもたちを遊ばせたり、地場野菜を使ったおやつを作るなど日常的に自然体験を提供しています。また、市内だけでなく市外や県外からの参加者が集まる『エコツアー』の企画と運営も行なっています。8月中旬、里山こらぼが主催する『はじめてのプチサバイバル in 名栗・湯ノ沢ラボ』という小学生向けのエコツアーにお邪魔し、代表理事の平井純子さんにお話を伺いました。

なぜ無償ボランティアではなく、有償であることにこだわったのか？

「現代の若者の環境問題への関心は高く、ガイドに興味を持つ若者もいます。しかし、生活に必要な稼りに繋がりにくいため、結局一般的な就職を目指すことになっていきます。無償ボランティアではいつか息切れします。環境・里山保全の活動を持続可能なものにするためには、若い人の仕事を作る必要があります」と、平井さんは力強く言います。この信念は活動当初から変わらず、里山こらぼでは学生ボランティアを含め、スタッフには人件費を支払っています。

環境文化保全活動しながら経営も学ぶ大学生たち

大学生にはサウナやバーベキューコンロ作り、ツリーデッキの修復に取り組んだり、地域の方々から山の手入れやタケノコ掘りを教わる他、エコツアーで小学生をサポートする役目があります。エコツアーはもちろん有料で、「卒業旅行はゼミ生みんなでフィンランドへ行く」という目標を作り、活動を通じて得たお金を貯金しているそうです。参加費を頂くとすれば責任は増しますし、卒業旅行へ行くという目標を達成するためには収益に繋がっていかねばなりません。エコツアーに参加している子どもの安全を守り、ガイドするだけでなく、何をすれば満足し楽しんでくれるのか。平井さんは大学生自らが考え行動に移していくことを期待しています。ただし、環境・文化を保全するという大きな目的から逸れることはありません。ここが一般的な営利団体とは異なる点です。観光ツアーに参加者がお金を払うのは当然と思えるでしょうが、環境や文化保全を目的とした活動において、人件費を十分賄えるほどの参加費を設定することについては、まだまだ珍しく挑戦的な試みなのです。

都会からの好アクセス、地元と都会の子どもの交流の場を作りたい

「何と言っても都会からのアクセスが良い。自然豊かな上に、地域の文化も生きている。これが飯能の魅力です。特に今はコロナ禍の影響か、自然体験に対するニーズが高まっています。飯能という土地や文化に興味を持ってもらうチャンスだと感じています」と平井さんは言います。今後は都会の子どもと飯能の子どもと一緒に活動できる機会を増やすために、その活動拠点とする古民家などの空き家を今より増やしていきたいと計画し、ワクワクしているのだそうです。平井さんへの取材を終えて、活動を経済的に自立させるのは楽ではないとひしひしと感じました。しかし、その苦勞多い挑戦に挑み続ける力を与えてくれるのは、飯能の自然・住む人の魅力・文化。そして何より活動に関心を持つ人々の存在です。飯能市には素晴らしい人や団体がたくさんあります。「未来にも子どもが山に響いて欲しい」と思う方は、ぜひ興味のあるエコツアーに参加してみたり、団体の会員になるなど行動を起こしてみてください。きっと素敵な出会いと時間が生まれ、飯能の誇る里山の自然と文化を未来へと引き継いでいきましょう。

※地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながることを目指していく仕組みを『エコツーリズム』と言います。
 『エコツアー』はこの保全につながるきっかけとなる観光ツアーのことを指します。

写真の説明文

- ① 役目を終えた懸垂幕で作ったハンモック
- ② 西川材の端材で自分の箸を作る
- ③ 捕まえた魚を覗き込む
- ④ 皿代わりになるアカメガシワの葉
- ⑤ サワガニ
- ⑥ 川遊びの後、里山こらぼが作った新炊き風呂で温まる
- ⑦ スイカ割りのルールは子どもと学生で決める
- ⑧ 必須の蚊取り線香

KUBOTA WORKS
 TODAY QUALITY TOMORROW WORK
 小さくけれど、いい仕事をする工務店

scn
 日本産業規格認証取得工場
島田コンクリート工業株式会社
 飯能市上直竹下分98-1-2
 ☎042-1977-11329

各種宴会・法事・ご予約承ります。
暖らん
 DANRAN
 飯能市新町4-4
 TEL:042-971-6129
<http://danran-hanno.jimdo.com/>

家族、大きくあれ。
 横手人形

あなたの「財産」を守るなら
潮田塗装(株)
 ☎989-1058



お蚕夏休み自由研究☆

前回作成した繭玉などを用いて、置き物を作成しました！



下のふわふわも繭を使っています



価値がはかれない自家製お花の置き物



煮るのにも時間がかかります



固かった繭が柔らかく



糸を巻く 最初が一番楽しい

「糸が気持ちいい☆」

子供たちは糸の触り心地や糸を巻く作業を楽しんでいました☆
ただ、糸巻は時間がかかる作業で子供は途中で飽きてしまいましたが、
大人が最後まで作った作品を見ると「すご〜い」と大はしゃぎでした。

今ではインターネットを通じて、幼虫からでも飼育できますし、繭玉からでも購入できます。
ご家族でお蚕の飼育に挑戦したり、繭玉から作品を作ってみたり、飯能に古くからあったお蚕文化に触れてみてはいかがでしょうか☆

織物の機材などは「飯能市名栗地区行政センター」や日高市にあります「高麗郷民俗資料館」にて無料で
ご覧になることが出来ますので、ご興味がありましたら是非一度訪問してみてください。

はんなーら181号~183号での様々な取材を通じて、

1. お蚕は時代とともに飯能でも盛え衰退していった
2. 縄と糸。沖縄の返還と養蚕業の衰退は密接に関係している
3. 飯能でお蚕の話をするとなんか大津沢栄一氏の話が出る
4. 近代の鉄道敷設と養蚕業は深い関りがある
5. 現在もお蚕は、利用、研究されている
宇宙開発、昆虫食、化粧品用品、ワクチンの実験で利用など

今までは意識してこなかった絹産業と社会インフラとの関りや歴史のことが出来ました。

現在は時代の変化の中で衰退してしまった養蚕業ですが、時代は変わっても養蚕業がもたらしてくれた恩恵や歴史は変わりません。
普段、生活している家やお店がある場所にもかつては蚕が食べる桑畑が広がっていて、そこそこで養蚕が営まれていたはず。地域の古い産業や歴史を意識しながら、街を眺め歴史を辿ってみるのも面白いと思います。地域の歴史を知り、興味を持つことで郷土への愛も増していくことと思います。

☆お蚕で何か作った! など作ったことがある、SNSでシェアしても大丈夫! などありましたらフェイスブックなどでコメントを入れて頂くか、最終ページにあるアンケートに添えてご記載ください☆



写真は高麗郷民俗資料館より

建物のこと
ご相談下さい
総合資材・総合建設

株式会社 丸仙
日高市鹿山200-1
☎978-5034
https://marusen-kk.com

税務*会計*相続*労務*
年金*助成金 など

税理士法人
アスタクス
社会保険労務士法人
レアクシオン
飯能市緑町7番地2
☎042-974-2275
http://www.astacs.com/

スギヤマ防災

安全な環境創りの
お手伝い

株式会社 スギヤマ
飯能市小瀬戸226
☎973-5965 fax974-5331

総合ギフト

ハリカ

飯能市緑町22-2
☎042-974-1684

YAJIMA

新築・リフォーム工事

株式会社 矢島工務店

飯能市仲町14-5
TEL 042-974-0111

飲食店 探訪

〜新たなお店編〜



生き生きとスギ・ヒノキが空に伸びる名栗の山間に、200個のベーグルが早い日には20分で売り切れるパン屋がある。コロナ禍に開業し、1年でここまでの人気店に成長した話題の店を訪ねた。



「前職のケーキ店はコロナ禍にあっても菓ごもり需要で売上げが逆に伸びていました。それに最近最近田舎暮らしの流れもあり、コロナだから、ということとで開業を躊躇するということがありませんでした」
「この店まで来るのは遠いけど、ベーグルだけじゃなくて、この店に来る途中の山や川、自然、季節を感じることに、癒されるし、それも含めてこの店が好き、って言うってくださるんです」



飾らず自然体が似合う印象の市ノ瀬さんは子育ても真っ最中。「ひとりで丁寧な作っているのでは今は200個が限界です」もともと多くの人に届けたい気持ちはあるとのことだが、それは次のステップ。
「今は無理をしすぎないよう、仕事とプライベートのバランスを意識しています」
「前職のケーキ店はコロナ禍にあっても菓ごもり需要で売上げが逆に伸びていました。それに最近最近田舎暮らしの流れもあり、コロナだから、ということとで開業を躊躇するということがありませんでした」
「この店まで来るのは遠いけど、ベーグルだけじゃなくて、この店に来る途中の山や川、自然、季節を感じることに、癒されるし、それも含めてこの店が好き、って言うってくださるんです」

自然豊かな名栗という立地がこのお店の魅力を何倍にもして、好きなお店があるから名栗にも足を運んでくれる。素晴らしい相乗効果が生まれています。人口減少やコロナという壁を跳ね除け、生き生きと事業展開している飲食店があるということは、地域活性化の重要な柱となるはず。ぜひ一度、名栗の自然を味わいながらのんびり地元グルメを楽しんでみてはいかがでしょうか。





第50回 飯能まつり 土曜日は皆で楽しめる企画が盛り沢山!

ステージ パレード マルシェに Live 三年分の企画案を土曜日に詰め込みました!

coming soon

詳しくは第50回飯能まつり 特設HPでチェック →



第50回飯能まつり限定 プレゼントもご用意!

飯能青年会議所クロスワード

豪華賞品プレゼント!(33名限定)

7 E 2

1

8

3

4 A

5

6

D

C

B F

答え
A B C D E F
□ □ □ □ □ □

た て

1. 飲食物を店から持ち出して自宅などに持ち帰ること (P7)
2. 絹産業にも深く関わり、新紙幣1万円札の図柄にもなる人物は? (P6)
3. 焼く前に『茹でる』のが特徴のパンの種類は? (P7)
4. 職業や業務とすること。里山保全の活動を持続的なものにするために若い人の〇〇が必要 (P4-5)

よ こ

5. 第〇〇回(2022年)飯能まつり。(P2-3)
6. 学校へ通う人のこと(P4-5)
7. 祭礼の時、飾り物をしたり太鼓を積んだりして引き出す車(P2-3)
8. 自然・歴史・文化など地域固有の資源を保護しながら体験し学ぶ観光(P4-5)



懸賞応募方法

応募方法: ハガキもしくは右記QRコードの応募フォーム (183号アンケート) 183号アンケートフォーム

応募期限: 2022年10月31日(月) 23:59まで (ハガキは当日消印有効)

ハガキの送付先: 〒357-0032飯能市本町1番7号飯能商工会議所内 (公社) 飯能青年会議所宛

注意事項: 応募はお一人様1回まで

ハガキの記入事項: ①クロスワードの答え、②応募者様のお名前、ご住所、ご連絡先
③はんなーら183号の記事で興味、関心を持った記事と感想。
④はんなーらを誰かに伝えたい、おすすめしたいと思いませんか?
⑤飯能青年会議所のホームページ、SNSを見たことがありますか?

当選結果: 11月上旬に抽選し当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



新入会員 紹介



秋葉 真規人 君
秋葉会計事務所



大野 浩史 君
P・R保険パートナーズ株式会社

50周年に向けメンバー大募集

仲間×成長×仕事

メンバーは多業種!!だから面白い!

私たち青年会議所では、メンバーを随時募集しております。飯能・日高市に在住、在勤の20歳~40歳までの男女で、まちづくりに興味のある方、自己の成長に興味のある方、一緒に活動しませんか。多業種の集まりですので、市内はもちろん、県内、関東圏または全国の有名企業の方と知り合えたり、話ができたり、新しいアイデアが生まれるきっかけにもなります。人脈づくりやスキルアップを目指す方、大歓迎です。詳しくは「飯能青年会議所公式HP」からお問い合わせください。



IT活用委員会 委員
伊藤 真一 君

新入会員の声 Youは何しに飯能青年会議所へ?

はじめまして! 私は日高市にある工務店 Rinie(株)伊藤木材建設の伊藤真一と申します。飯能青年会議所のことには名前を知っていましたが、入るきっかけがありませんでした。先日、仲間の誘いもあり青年会議所の講演に出席することになり、こんなに若くてエネルギーのある中に自分も入りたい!少しでも吸収して成長したいと感じました。年齢が39歳とギリギリで限られた時間ですが、活動を楽しみながら、自身、自社の成長、地域の活性化にも貢献して行きたいと思っております!

御礼

この「はんなーら」は飯能市と各自治会のご厚意によって市内各戸に無料配布されています。